

SHIGEO KATO

THE STAIRS

# 加藤繁雄 & ザ・ステア

GUITAR RECITAL '96

## ギターリサイタル'96

J.S. BACH THE THREE VIOLIN CONCERTI

J.S. バッハ/バイオリン協奏曲全曲演奏会



加藤繁雄

●加藤繁雄 (Guitar Solo)

- F. ターレガ/アルハンブラ宮殿の思い出
- M. ジュリアーニ/《おいらはキャベツ作りの子》の主題と変奏曲
- A. バリオス/大聖堂
- M. ポンセ/南のソナチネ
- C. ドメニコーニ/コロンババ

●ザ・ステア (Guitar Ensemble)

- バイオリン協奏曲第1番イ短調BWV1041 J. S. Bach
  - バイオリン協奏曲第2番ホ長調BWV1042 J. S. Bach
  - バイオリン協奏曲第3番ニ短調BWV1043 J. S. Bach
- (ソロ: 加藤繁雄、原 静雄)

# '96 3/23 (土) 6:30 P.M.

(開場 6:00 p.m.)

## バリオホール

- 入場料/¥3,000 (当日¥3,500) 全席自由
- チケット取扱い/シグマギタースクール(☎03-3761-6719)  
ファナ、ギターしよぶ、シャコンヌ、現代ギター、ギタラ、ジー・アンド・エム
- 主催 シグマギタースクール
- 後援 (社)日本ギター連盟、日本ギター合奏連盟

アピラック・ミュージック・コミュニティセンター(バリオホール)



〒113 東京都文京区本郷1-28-4 JR「水道橋」駅 都営地下鉄・三田線「水道橋」駅 都営地下鉄・丸ノ内線「本郷三丁目」下車 ☎03-3818-4151 (代表)

J.S. BACH THE THREE VIOLIN CONCERTI

J.S.バッハ/バイオリン協奏曲全曲演奏会

SHIGEO KATO

THE STAIRS

加藤繁雄 & ザ・ステア

GUITAR RECITAL '96

ギターリサイタル '96

'96 3/23(土) pm6:30開演

バリオホール

- 主催 シグマギタースクール
- 後援 (社)日本ギター連盟  
日本ギター合奏連盟

## ごあいさつ

本日は、「加藤繁雄 & ザ・ステア ギターリサイタル'96」に御来場下さいまして誠にありがとうございます。月日の経つのは早いもので、私がソロリサイタル“ギターの小路Ⅳ”を上野のエオリアンホールで行ったのが1993年の12月でしたから、もう2年以上経過しています。その時に頂いたアンケートの中で、「ギターアンサンブルとソロの両方を楽しめるコンサートを企画してはどうか」というご提案を頂き、思案を巡らしていました。幸いにもその間、日本ギター合奏連盟・(社)日本ギター連盟の主催する「日本ギター合奏フェスティバル」やJGA主催の「JGAギター音学祭」にザ・ステアも何度か出演させて頂き、バッハのバイオリン協奏曲をいつしか全部発表していました。私がかねてから実現しなかったバッハのバイオリン協奏曲の全曲演奏会を企画して1年余、本日の演奏会がどれ程皆様の期待に応えられるかは分かりませんが、今日まで精一杯トレーニングを積むことができたのは大変な喜びです。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

さらに今回、私の初CD「おいらはキャベツ作りの子」(MTC D-0008)を(株)サウンド・マトリクス制作により完成させることができました。私にとって最高に幸せな年になりそうです。CD制作に御協力いただいた皆様には心よりお礼申し上げます。

1996年3月23日(土) 加藤繁雄

## ごあいさつ

ザ・ステア 団長 吉田利克

本日は御来場下さいまして誠にありがとうございます。私たちザ・ステアは結成以来8年が経過し、平成2年以來3回目のリサイタルとなります。今回のリサイタルは加藤先生との共演ということもあり、また大曲に望むため、合宿2回を含めた約1年の期間を設けて練習に励んでまいりました。メンバーは学生・社会人等多種多様で、皆忙しさの合間を縫って何とか今日に到達できたように思います。

今回演奏しますバッハのバイオリン協奏曲・第1～第3番についてはメンバー全員の意向でもあり、皆様にも通常の管弦楽器でのアンサンブルにはないギターアンサンブルの魅力をお届けできるのではないかと考えております。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみ下さい。尚、今後の演奏会の大切な資料としてアンケートを役立てたいと思いますので、皆様のご協力をお願い致します。

最後になりましたが、今日のリサイタルに際しまして御協力いただきました関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

# プログラム

## 【第1部・ギターソロ】 演奏/加藤繁雄 SHIGEO KATO

1. 大聖堂 (A. バリオス) *La Catedral (A. Barrios Mangore)*
  - I. 前奏曲 (サウダーデ) *Preludio (Saudade)*
  - II. 宗教的アンダンテ *Andante religioso*
  - III. 荘重なアレグロ *Allegro solemne*
2. 《おいらはキャベツ作りの子》の主題による変奏曲 Op. 49 (M. ジュリアーニ)  
*6 variations sur "I bin a Kohlbauern Bub" (M. Giuliani)*
3. アルハンブラ宮殿の思い出 (F. ターレガ)  
*Recuerdos de la Alhambra (F. Tarrega)*
4. 南のソナチネ (M. M. ポンセ) *Sonatina meridional (M. M. Ponce)*
  - I. カンポ (田園) *Campo*
  - II. コプラ (唄) *Copla*
  - III. フィエスタ (祭り) *Fiesta*
5. コyunババ Op. 19 (C. ドメニコーニ)  
*Koyunbaba "Suite for Guitar, Op. 19" (C. Domeniconi)*
  - I. モデラート *Moderato*
  - II. モッソ *Mosso*
  - III. カンタービレ *Cantabile*
  - IV. プレスト *Presto*

==== 休憩 (15分) =====

## 【第2部・ギターアンサンブル】 演奏/ザ・ステア THE STAIRS

6. バイオリン協奏曲第1番イ短調 BWV1041 (J. S. バッハ)  
*Concerto in A Minor, BWV1041 (J. S. Bach)*
  - I. アレグロ *Allegro*
  - II. アンダンテ *Andante*
  - III. アレグロ・アッサイ *Allegro assai* [Solo: 加藤繁雄・原 静雄]
7. バイオリン協奏曲第2番ホ長調 BWV1042 (J. S. バッハ)  
*Concerto in E Major, BWV1042 (J. S. Bach)*
  - I. アレグロ *Allegro*
  - II. アダージョ *Adagio*
  - III. アレグロ・アッサイ *Allegro assai* [Solo: 加藤繁雄・原 静雄]

==== 小休憩 (5分) =====

8. バイオリン協奏曲第3番ニ短調 BWV1043 (J. S. バッハ)  
*Concerto in D Minor, BWV1043 (J. S. Bach)*
  - I. ビヴァーチェ *Vivace*
  - II. ラルゴ・マ・ノン・タント *Largo ma non tanto*
  - III. アレグロ *Allegro*

[1st. Solo: 加藤繁雄、2nd. Solo: 原 静雄]

## 作曲者・作品解説

解説；加藤繁雄

### ■ 大聖堂 (A. バリオス)

*La Catedral (A. Barrios Mangore)*

アウグスチン・バリオス・マンガレは1885年5月5日、パラグアイに生まれ1944年エルサルバドルで心臓病で世を去った偉大なギタリスト、作曲家です。15歳のときに国立専門学校に入学し、25歳から南米、中南米を演奏旅行しています。37歳で初めてセゴビアに会った時にはセゴビアにギター奏法の助言をしています。ギター製作家のサントス・エルナンデスが書いた「思い出集」で『セゴビアが初めて南米に行った時は左手の技術が甘かったが、バリオスに逢って助言を受けてスペインに戻ってからはその技術は完全なものになった』と述べています。バリオスはギターのみならず哲学者、神学者、詩人でもありました。語学も数か国語を話し、アメリカ大陸に音楽学校を創設しています。ブラジルの大作曲家ビラ＝ロボスにも多大な影響を与え、バリオスの「告白」「悲しみのショーロ」を聞いて「前奏曲第1番」や「特徴的ショーロ」が生まれたとされています。今日でも自演レコードが残されておりその驚異的テクニックを楽しむことができます。

「大聖堂」……バリオスが20歳の頃、ウルグアイの首府モンテビデオのとある教会から流れるオルガンの調べを聴いて、その印象をこの曲に表したと伝えられています。

I. 前奏曲 (サウダーデ) II. 宗教的アンダンテ III. 荘重なアレグロの3曲から成り、I. II. は大聖堂の中の敬虔な祈りの気持ちを表し、III. は祈りを終えて群衆の間に漂い残る感動の余韻を表しているといわれています。バリオスの代表的名曲の一つで、ギターのカンパネラを充分生かすロ短調で書かれています。

### ■ 《おいらはキャベツ作りの子》の主題による変奏曲 Op. 49 (M. ジュリアーニ)

*6 Variations sur "I bin a kohlbauern Bob" Op. 49 (Mauro Giuliani)*

マウロ・ジュリアーニ (1781~1829) は1781年7月27日、イタリアのビスツェリエという小さな町に3人兄弟の次男として生まれ、最初はバイオリン、次にフルートを学び、その後ギターを手にしてこの楽器が彼の一生のものとなりました。20歳でボローニャを去り、ヨーロッパ各地を演奏旅行に出掛け、各地で絶賛を浴びています。27歳のときウィーンに定住し、イタリア人の持つ美しいメロディーとウィーン派の持つ音楽形式により素晴らしいギター曲を書いています。ベートーベンやシューベルト達とも親交を持ち、パガニーニ・ロッシーニといった当時の花形スターとも共演しています。ジュリアーニの作品もさる事ながらギターの技量は群を抜いていたようで、オーケストラの後にギターソロを演奏してもオーケストラに退けをとらない素晴らしい演奏をし、ベートーベン「ギターは小さなオーケストラ」だ、

と評したと伝えられています。全作品数は300曲以上で、そのうち作品番号の付いてあるものは151曲となっています。

《おいらはキャベツ作りの子》の主題による変奏曲……1814年、ウィーンのヴァイクルから初版が出版され、テーマ曲はウィーンの民謡で、原曲はもっと複雑なメロディーを、後の変奏のことを考えて単純化したようです。テーマから第4変奏までギターならではのテクニックを駆使し、第5変奏で突如、alla Polacca（ポーランドふう）に一転します。第6変奏からフィナーレに向かって息もつかせぬ程の眩い盛り上がりを見せ、ベートーベンを彷彿させるような見事なコーダに入ります。この作品を演奏している人は少ないのですが、ジュリアーニの面目躍如たる傑作です。

## ■ アルハンブラ宮殿の思い出 (F. ターレガ)

*Recuerdos De La Alhambra (F. Tárrega)*

フランシスコ・ターレガ（1852～1909）はスペインのカスティリオン、ヴィリャレアルに生まれたギタリスト、作曲家で“近代ギターの父”と呼ばれています。幼い頃に事故で目を悪くし、それを案じて父親がピアノを習わせますが、ギターの名手アルカスの演奏を聞いてギターを弾くことを決意します。マドリッド音楽院で和声、ピアノ、作曲を学び、それらのすべての技法をギターに応用しマドリッドでギタリストとしてデビューしました。その後スペインはもちろん、遠くロンドン、パリまで演奏旅行をして「ギターのサラサーテ」といわれるほどの名声を博しました。しかしながら当時のギターに対する偏見と低い認識のために経済的には恵まれず、貧困の中に多くの名作を残して1909年、57歳でバルセロナに没しました。

「アルハンブラ宮殿の思い出」……画家のアルフレッド・コッタに捧げられた曲で、ギターならではのトレモロ奏法曲としてあまりにも有名な作品です。多くのギタリストの愛奏曲ですが、アルハンブラとは“Qal'at al Hamra = 赤い城”を意味するアラビア語で、1239年から建設が始まり、グラナダ王が変わる度に拡張されていき、レコンキスタ後の16世紀、カルロス5世の時代に完成されたといわれています。3/4イ短調ーイ長調。

## ■ 南のソナチネ (M. M. ポンセ)

*Sonatina Meridional (Manuel Maria Ponce)*

“メキシコ近代音楽の父”として音学史にその名を刻むマヌエル・ポンセ（1882-1948）は、サカテカスで音楽的環境の中で第12子として生を受け、驚くべき早熟さで音楽を理解し、5才で処女作「はしかの舞曲」を書き、6才で演奏報酬を得ています。わずか3年間で小学校を終え、15歳で教会の首席オルガン奏者となります。国立音楽院に進学してももはや学ぶことがなく、22歳でイタリアへ、その後ドイツへ音楽の旅に出て多くを学び、再び故国に戻り

ます。メキシコの音楽を取り入れた民族主義を尊重し、名曲「エストレリータ（小さな星）」の作曲者としても良く知られています。35歳でクレマと結婚、43歳で更になる音楽の勉強のためパリに行き、エコール・ノルマルでデュカの作曲のクラスを取り、ロドリゴ・ビラ＝ロボス等と親交を持っています。“ギターの神様”アンドレス・セゴビアとも交流し、数多くのギター作品を書き上げました。この時期、経済的に恵まれず、妻は一時メキシコに戻ってポンセに仕送りをします。50歳でポール・デュカの講座を終了し、メキシコに戻り、メキシコ国立音楽院の講座を受け持ち、やがて院長に任命されます。ウルグアイ、アルゼンチン、サンティアゴに赴き演奏会・講演で大成功を収め59歳のときにメキシコ芸術科学賞を音楽家として初めて受賞します。しかしながら尿毒症のため66歳でその生涯を閉じました。

南のソナチネ……ポンセがセゴビアの依頼を受けて書いた「スペイン的な」作品の一つで、1939年に初版が出てから多くの演奏者が録音している最も代表的傑作です。

第1楽章 Campo カンポ（田園）ニ長調3／8、極めてスペイン的なリズムを持ったソナチネ形式の曲で、第2主題では西部スペインのアビラ地方に伝わる民謡が使われています。

第2楽章 Copla コプラ（唄）ニ短調6／8、カンテ・フラメンコを思わせるような叙情豊かなメロディを持つ楽章で、ギターの音色が心に染み入る楽章です。

第3楽章 Fiesta フィエスタ（祭り）ニ長調3／4、フラメンコのラスゲアード奏法を効果的に使い、スペインの色彩が色濃く表れている楽章で村祭りの賑わいをより鮮明に描き出しています。

## ■ コyunババ Op. 19 (C. ドメニコニ)

*Koyunbaba 'Suite for Guitar, Op. 19' (Carlo Domeniconi)*

現代に生きるギター作曲家（兼ギタリスト）、カルロ・ドメニコニは1947年イタリアのセセナに生まれ、イタリアとベルリンで作曲とギターを学びました。ギターの最初の師は「ラリアーネ祭」で良く知られているルイジ・モツァーニの孫に当たるカルメン・ルイジ・モツァーニです。1977年から1980年にトルコのイスタンブールでギターの教授とソルフェージュの指導を行い、そこで聞いたトルコの民謡に深く影響を受けます。後に彼は、高い評価を得た「トルコのテーマによる変奏曲」を書き、ソロギターのための「トルコ民謡コレクション」を出版しました。即興演奏の名手でもあり、現代のギタリストは今後一層、ドメニコニの作品に接することが増えるに違い在りません。

コyunババ……通常のギターの調弦を大胆に変化させ、開放弦がDm（①弦からファ・レ・ラ・レ・ラ・レ）またはC#mで演奏します。ドメニコニがトルコ西南部を訪れたときに見た美しい小川に感動し、即興的に作り上げた作品で、次の4つの楽章から成っています。

I. moderato II. mosso III. cantabile IV. presto

“コyun”は「羊」、「ババ」は「父」を意味し、羊の守護神として崇められている古い聖者の名前が“コyunババ”です。

## ◆ギターアンサンブルでJ. S. バッハのバイオリン協奏曲を…… 加藤繁雄

ギターを愛する私たちが、バッハのバイオリン協奏曲を全曲演奏するということ、ある人は暴挙と言ひ、ある人は喝采だと言ひます。暴挙でも喝采でも構わないのです。私たちはバッハが好きで、ギターが好きだけです。そして結果的に今日の演奏会が実現したという極めて単純なことです。しかし、演奏会を開くということは少なからずいい演奏をお届けしたいという“欲”もあり、バッハ先生の演奏アドヴァイスの言葉が聞こえてきたならばどんなにいいのにかと思ったりもします。手掛かりになるものは片っ端から取り集め、CDを聞き、今までの演奏体験も重視し、何はともあれバッハ先生に喜んで頂けるような演奏を目指して奮闘してきました。撥弦楽器の欠点である“音の伸び不足”をいかに克服するかという問題や、アゴーギクのかけかた、デュナーミクの問題などを解決しなければなりません。頼りになるのはオンパです。バッハ先生の美しいオンパを探っていきますと、ふとある事に気が付きました。曲のモチーフであるオンパが、当然あるべき箇所で欠けていて休符になっているのです。そして、モチーフはオンパの途中から姿を現わしているのです。理由は簡単！バイオリンにはその低音が無いのです。私は嬉しくなってきました。バッハ先生でも、楽器の性能・音域に随分悩んで作品を作られていたのです。『ショーガネーター、エエイ！ココハ、カットシチャエ！』なんてね。何て人間臭い先生だったのでしょうか。「バッハ先生、ギターならばその音がありますよ！」

## ● J. S. バッハについて

音楽史上最も偉大な作曲家の一人といわれる大バッハ（ヨハン・セバスチャン・バッハ）は音楽的な家系の中から1685年3月21日、アイゼナハ（ドイツ）に誕生し、3月23日（何と今日！）洗礼を受けています。10歳のとき父親を亡くし、バッハは歌手として働いています。オールドルフ、リューネベルグ、ワイマール時代の10代に幾つかの作曲を行い、20代にはアルンシュタット、ミュールハウゼン（22歳でマリーア・バルバラと結婚）、ワイマールに住みオルガン曲やカンタータ（歌）を残しています。そして生涯で最も充実していたといわれるケーテン（1717～1723）に住み、多くの器楽曲を残しました。今日演奏する曲もその頃の作品とされています。35歳の時病気で妻を亡くし、翌年アンナ・マグナレータ・ヴィルケと再婚します。38歳でケーテンからライプツィヒに移り膨大なカンタータやオラトリオを書き、1750年、65歳で世を去りました。眼科医ジョン・テラーの目の手術が2回失敗し、バッハの命を縮めたと言われています。（何とこの眼科医はヘンデルの目の手術も失敗しています。）

## ● バイオリン協奏曲作品解説

解説；原 静雄

ギターアンサンブルのバイオリンに相当する楽器は、実音で奏される音よりも完全4度低いアルトギターで演奏することが一般的で、響きも豊かになります。従って、実際の響きは括弧内に書かれた調で演奏しています。



## ■ バイオリン協奏曲第1番イ短調（ホ短調）BWV1041

バッハは少年の頃から大変研究心が強く、大家の作品を貪欲なまでに吸収し、中でもビヴァルディの協奏曲を「ハープシコード協奏曲」や「オルガン協奏曲」に編曲して協奏曲の様式をとことんまで極めています。ビヴァルディが好んだ手法の一つに“リトルネッロ形式”という、総奏と独奏が交互に現れて曲を進める方法がありますが、バッハはこの形式に複雑な対位法の技術を導入し、一段と輝きを増した音楽絵巻を作り上げました。バイオリン協奏曲はバッハが最も充実していたケーテン時代（1717～1723）の作品です。

**第1楽章 アレグロ**（楽譜にこの指示はありませんが、一般にはアレグロで演奏しています。）**イ短調、2／4拍子。**

24小節のリトルネッロが全体を支配し、冒頭の力強いテュッティ（総奏）がこの楽章に活力を与えています。ソロの主題は哀愁を帯びた甘美な旋律で、この楽章を支えるもう一つの重要な要素です。そのコントラストが実に鮮やかに対比されています。

**第2楽章 アンダンテ、ハ長調、4／4拍子。**

いかにも、ドイツの作曲家バッハならではの“厳粛な美”をたたえた楽章です。冒頭1小節のバス・オスティナートが様々な調で反復され、ソロはその背景でカンタビレ風に歌っていきます。

**第3楽章 アレグロ・アッサイ、イ短調、9／8拍子。**

生き生きとした舞曲調に乗ったリトルネッロによって構成され、終曲らしい華麗さと活力を備えたフゲッタ（小フーガ）が展開されます。ソロの最後のアルペジオはまさに“ギター的”で、バイオリン演奏にはないクリアな音になります。

## ■ バイオリン協奏曲第2番ホ長調（ロ長調）BWV1042

バッハの作品の多くは、彼の死後約1世紀の間、世間から全くと言っていいほど顧みられませんでした。しかし、例外的によく演奏されていたのが「管弦楽組曲第2番」とこの「第2番」です。フォルケルが「抑え切れない生の喜びに溢れ、最初と最後の楽章でその勝利の歌を歌う」と称えています。技巧的にも内容も一段と充実し、バッハの全作品中最も明るく、輝かしく、堂々とした傑作です。

**第1楽章 アレグロ、ホ長調、2／2拍子。**

男性的な力強い主題がいかにもバッハを感じさせます。中間部（嬰ハ短調）はカデンツァで第3部となり、再びダ・カーポして終わります。

**第2楽章 アダージョ、嬰ハ短調、3／4拍子。**

ソロは、低音の荘重なバス・オスティナートの音型を背景に、抒情の極みともいうべき旋律をうたいます。「こういう音楽を聴くと、人は何もいう言葉を知らない」（フォルケル）

**第3楽章 アレグロ・アッサイ、ホ長調、3／8拍子。**

生気に満ちたこの楽章は、古風な Rond 形式で書かれ、テュッティとソロが交互に喜びをうたいあげます。

## ■ バイオリン協奏曲第3番ニ短調（イ短調）BWV1043

別名“ドッペル・コンチェルト（2つのバイオリンのための協奏曲）”ともいわれ、やはりケーテン時代の作品です。バロック時代には合奏協奏曲（コンチェルト・グロッソ）が盛んに作曲されましたが、この作品はむしろ独奏協奏曲に近い内容を持っています。事実、この2つのソロによる音の綾織りの美しさは高級な織物でも見るかのように絶品で、対位法の大家バッハならではの優れた作品です。

**第1楽章 ビヴァーチェ、ニ短調、2／2拍子。**

テュッティは幾何学的美しさを持ち、ソロのメロディーは旋律的です。リトルネッロ形式により構成され、カテドラルを思わせるような構築美を創り上げています。

**第2楽章 ラルゴ・マ・ノン・タント、ヘ長調、12／8拍子。**

2つのソロが対話的に音楽を進めていきます。この楽章は、ある意味では最もギター的でない（逆にいうと最もバイオリンがうたわせやすい）楽章ともいえ、アレンジの難しいところですが。原曲をよくご存じの方は、アレンジのおもしろみも理解して頂けるのではないかと思います。素晴らしいメロディーです。

**第3楽章 アレグロ、ニ短調、3／4拍子。**

テュッティと2台のソロが、交互に華麗に競演しあって、生き生きとしたフィナーレを作り上げています。

## 〔ザ・ステアの使用楽器紹介〕

**アルト・ギター**……通常のギターより小型で、完全5度高く調律します。アンサンブルにおいてはバイオリンパートに相当し、世界の名工が続々と新作を発表しています。第1バイオリンを受け持つ1st. Altoと第2バイオリンを受け持つ2nd. Altoに別れます。  
Alto Guitar

**プライム・ギター**……一般のギターを指します。アンサンブルではビオラパートを受け持ちます。プライム合奏・重奏も行っています。  
Prime Guitar

**バス・ギター**……プライム・ギターからみて完全4度低く調律するやや大型のギターです。チェロパートを受け持ちます。  
Bass Guitar

**コントラ・バスギター**……プライムギターの完全8度、すなわち1オクターブ下の調律で、弦長も最も長くなります。コントラバスパートを受け持ちます。  
C. Bass Guitar

---

## 〔加藤繁雄プロフィール〕

1957年（昭和32年）北海道厚真町（道南）にて出生。先天制両股関節脱臼にて幼少時、登別に1年間入院、退院後は地元で過ごす。小学6年で再発、登別と札幌で2年づつ計4年間の入院生活をする。闘病時代に独学でギターを始め、1年後には「アルハンブラ」「アストリアス」などを病院の付属学校で演奏発表する。苫小牧東高校、弘前大学と進学し、ギタークラブでギターアンサンブルを体験、在学中に仙台で行われている東北ギターコンクールで「プレリュード・フーガ・アレグロ」（J. S. Bach）を演奏し、第3位入賞。昭和57年、上京し新堀ギター音楽院職員となる。同時に日本ギター音楽学校第2部（夜間）に入学。同年第13回全日本ギターコンクール・独奏部門で1位なしの第2位となる。昭和59年より新堀ギター大森センター主任を務める。昭和61年西日本縦断コンサート、昭和63年「ギター名曲170選ABC」（ドレミ楽譜）のレコーディング一部を担当。同年“ギターミュージック”誌でギターソロアレンジを担当。平成元年よりソロリサイタル“ギターの小路”を始め、好評を得る。平成2年、「シグマギタースクール」開校、平成3年同スクールの高弟から成るギター合奏団「ザ・ステア」が日本ギター合奏フェスティバルにおいてJGA賞を受賞、JGAギター音楽祭でゲスト演奏する。平成6年、アンサンブル“OZ”コンサートマスターとしてスコット・テナントとコンチェルトを共演。平成8年初のソロCD「おいらはキャベツ作りの子」（MTCD-0008）をシグマギタースクールより発売。学校音楽鑑賞教室などでもザ・ステアと共に演奏活動を行う。ギター演奏・教育・編曲などのほか歌の作曲家として徳間ジャパンから「私の赤ちゃん」など数点発売されている。

## ザ・ステアメンバー紹介……………も~~~~す。

- ◆原 静雄……ザ・ステアのコンサートマスター。驚異のテクニックを所有し、なぜか練習しないのにその技術は維持し続けている。アルトギター（ソロ）担当。
- ◆原 美喜……原氏の驚異のテクに惚れたのか、はたまた、宇宙人的な所に魅力があったかは定かではないが、兎も角も結婚し、おなかには何やら人間を宿しているらしい。アルトギター(1st) 担当。
- ◆吉野秀子……世界でも有名な“現代ギター”誌でたまたまステアの記事を発見し、住所が大森だったことから入団。京都の大学のギター部でも活躍していた。“シューチャン”の愛称で親しまれている。アルトギター(1st) 担当。
- ◆吉原玲子……“類は友を呼ぶ”ということで、一足先に入団したシューチャンの紹介でステアに入団。しかし大学のサークルでは先輩である。楽しき博多弁も時に出る。アルトギター(1st) 担当。
- ◆吉田利克……ザ・ステアの団長を断腸の思いでやっている……事はない。行動力抜群！話が“ある話題”になると止まらなくなる。アルトギター(2nd) 担当。
- ◆金山茂弘……ステアに鈴木氏の紹介で入団。大宮（与野）のギターサークルでも活躍中。“こだわり派”で、特に日本酒に関しては詳しい。アルトギター(2nd) 担当。
- ◆伏見晃司……今をときめく村治佳織さんを育てた村治昇先生のお弟子さん。慶応大学ギター部OBでもあり、顔はひろい。“フッシー”で通る。プライムギター担当。
- ◆小泉康朗……大阪のとある楽器店にいたこともある。“ギターのこだわり”は最も強い。千住に住み、大森と大宮の中継点としてメンバーに重宝がられている。プライムギター担当。
- ◆山本洋司……「もっと早く入団していたらチラシに写真を出せたのに……」と残念がられている。が、本人はそれほどではないらしい。お酒が入る程に陽気になる。プライムギター担当。
- ◆平林一美……ダンディな顔付きと愛らしい名前の不一致が人気の秘密か。何でも良く気が付く。なかなかの理論派。ステア歴も長い。バスギター担当。
- ◆鈴木大三郎…ステアのリサイタルを聞いて入団。話題の盛り上げ方は天性の才か。スタイリストだが、ずっこけ話も多い。バスギター担当。
- ◆柏原亮太郎…目下腱鞘炎と闘いながらギターを練習している。ステアでは最も若い。小走りを厭わず良く働く。ギター関係の将来を考えている。コントラ・バスギター担当。



文具・事務機・印刷・雑誌・書籍  
ギフト・キャラクター文具

合資会社

## 進 興 堂

〒144 東京都大田区西六郷1-48-11  
電話 (03) 3731-4974 番  
FAX (03) 3738-5630 番

御宴会受承ります。

5名様より70名様まで、  
お座敷でごゆっくり……

茗呼の茶味く  
**がんばり屋**

大森東口店

〒143 大田区大森北1-34-16  
大光ビルB1  
TEL 03-3763-1491

♪あなたの街の小さな陶器屋さん♪

器らく に遊びに  
来ませんか♡

☆趣味の和・洋食器・陶器  
☆高級クリスタル製品  
☆ガラス及び手作りガラス製品  
☆花瓶・インテリア小物・生活用品

**御贈答品最適品多数取揃え**

☎146 大田区池上7-2-7  
TEL&FAX 03-3753-1521  
(東急池上線・池上駅前商店街徒歩2分)

☎この広告をお持ちになってお買い上げのお客様に小さなプレゼントを差し上げます。

◎クリーニング師が作業します。

クリーニング・しみ抜き

有限会社

# 三 共

〒338  
埼玉県与野市上落合1140  
☎(048)852-1270

## ★ザ・ステア メンバー募集中!!

私たち、“ザ・ステア”は加藤先生の指導のもとで毎週ギター合奏を楽しんでいます。  
レベルや門下を問いません。入団は随時大歓迎します。是非お気軽に見学に来て下さい。

- 練習場所/シグマギタースクール内
- 練習時間/毎週土曜日PM7:30~9:30 (第3土曜は日曜日に振替)
- 会 費/月1500円
- 指 導 料/月3000円 (個人レッスン受講者は2000円)
- 連 絡 先/☎(03)3761-6719
- 所 在 地/〒143 東京都大田区大森北1-35-1 (大森駅より徒歩3分)

おいらはキャベツ作りの子  
加藤繁雄  
ギターアルバム  
～佳奈永に捧げる～

# 待望久しき加藤繁雄、初のCD! 「おいらはキャベツ作りの子」

加藤繁雄ギターアルバム〈佳奈永に捧げる〉

〔収録曲〕 〈おいらはキャベツ作りの子〉の主題による変奏曲

Op.49 (M.ジュリアーニ) / 大聖堂 (A.バリオス) ～前奏曲、宗教的なアンダンテ、荘重なアレグロ / 4つのブラジル民謡組曲 (H.ヴィラ=ロボス) ～マズルカ・ショーロ、ショティツシュ・ショーロ、ヴァルサ・ショーロ、ガヴォット・ショーロ / アルハンブラ宮殿の思い出 (F.ターレガ) / 南のソナチネ (M.M.ボンセ) ～カンポ、コブラ、フィエスタ / コウンババ Op.19 (C.ドメニコニ) ～モデラート、モツソ、カンタービレ、プレスト

定価 ¥2,800

(送料 ¥170)

お申込は / 郵便振替

00130-9-768480 / ジー・アンド・エム

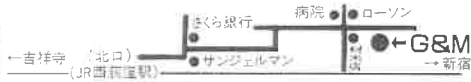
## 〔USED GUITAR〕

J.ラミレス '64 (IMマーク)  
M.G.コントレラス '77  
M.ロドリゲス '65  
E.メンヒ '68  
S.マーティー '93

J.ロメロ '93  
J.ロペス '94  
P.バートン '93  
H.ナカデ '86  
etc.

## 〔NEW〕

R.ロマン  
J.オリベ  
A.マリン  
J.マリン  
M.コーノ  
S.クロサワ  
Y.アベ  
H.ミズハラ  
Y.ナカデ  
K.ヤイリ



**ジー・アンド・エム** ☎&FAX 03-3399-3165  
東京都杉並区西荻北2-1-3-101 〒167 (日・祭 / 定休)

ビギナーからプロまで——すべてのギター愛好家のための専門誌。

# 月刊 現代ギター

毎月20日発売。全国有名書店、楽器店でお求め下さい。B5判 / 定価1,000円(本体971円/送料108円)

合奏はもちろん重奏用としても楽しめます。親しみやすい名曲が多く、ギター教室用テキストにも最適!!

ここに収められた曲は、いずれも演奏会などで好評を博した実績のある編曲ばかりです。懐かしい名曲から最近のヒット曲まで、3部合奏、4部合奏に編曲されています。もちろん重奏でも楽しめます。第1集では合奏用ギターを使用していませんが、第2集では合奏用ギターをフルに活用する曲も数曲掲載してあります。

## ギター・アンサンブルレパートリー第1集

### <収録曲>

◆イェスタディ◆望郷の歌◆ラ・クカラチャ◆メキシカン・ハット・ダンス◆聖のオルゴール◆ウィーンはいつもウィーン◆ドナウ河のさざ波◆この世の果て◆夢みるカノン◆軍隊行進曲◆少年時代◆コンドルは飛んでいく◆サバの女王◆さくら変奏曲◆アランプラの想い出 以上15曲

編曲：日本ギター合奏連盟  
菊倍版64頁 / 定価2,575円(本体2,500円)送料400円 / 好評発売中

## ギター・アンサンブルレパートリー第2集

### <収録曲>

◆ジェラシー◆アメージング・グレイス◆エーデルワイス◆エル・チヨクロ◆カルメン組曲第1番より～間奏曲◆きらきら星の主題による変奏曲◆二人でお茶を◆小フーガ(バッハ)◆メヌエット(モーツァルト)◆好きにならずにいられない◆幸せになるために◆メヌエット(ボッケリーニ)◆天使のセレナーデ

編曲：日本ギター合奏連盟  
菊倍版64頁 / 定価2,575円(本体2,500円)送料400円 / 好評発売中